

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公開番号】特開2018-77167(P2018-77167A)

【公開日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2018-018

【出願番号】特願2016-219972(P2016-219972)

【国際特許分類】

G 0 1 N 17/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月18日(2018.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

戻り空気除湿手段 8 8 は、例えば公知のロータリー型のデシカント除湿装置であり、吸着式乾燥装置である。

戻り空気除湿手段 8 8 は、除湿目的の空気を通過させる主流路 9 1 と、デシカントローターの中に内蔵された湿気吸着材を乾燥させるための熱風を通過させる補助流路 9 2 がある。

戻り側送風路 2 8 は、切り替え手段 2 6 を経て気・気熱交換器 8 7 の二次側流路 1 0 1 を通過し、戻り空気除湿手段 8 8 の主流路 9 1 に接続されている。また戻り空気除湿手段 8 8 の主流路 9 1 の吐出側は、空調部 5 0 の第一空気戻り口 2 1に接続されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 9 】

以上説明した実施形態では、追加加湿装置 6 5 は、試験室 2 及び空調部 5 0 とは別個の装置であるが、例えば図 4 の様に追加加湿装置 8 0 が空調部 8 1 に内蔵されていてもよい。

図 4 に示す構成では、空調部 8 1 の筐体内に小部屋 8 2 が設けられ、その小部屋 8 2 の中に加湿器 6 7 と加湿用送風機 6 8 が内蔵されている。

加湿用送風機 6 8 の吐出側は排気用送風機 1 6 の吐出側に接続されている。加湿用送風機 6 8 の吐出側にはアクチュエータ付きのダンパー 8 3が設けられており、ダンパー 8 3を開閉することにより、排気用送風機 1 6 の下流側に供給する水蒸気量が制御される。

また追加加湿装置 8 0 を試験室 2 側に設けてもよい(図示せず)。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

